

警察署協議会会議録

城南警察署協議会

開催年月日時	令和7年2月5日 午後2時00分 から 令和7年2月5日 午後2時50分 まで	
開催場所	城南警察署4階 大会議室	
出席者	警察署協議会	委員 5名
	警察署	署長、副署長、刑事管理官、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、署付、総務第二係長
議 事 概 要		
【署長挨拶（要旨）】 ○ 昨年に引き続き、本年も警察活動の諸般にわたり、ご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。 ○ 昨年末に小倉南署管内において、中学生2名が殺傷される痛ましい凶悪事件が発生した。 犯人逮捕までの間、県民の皆様に変な不安と心配を招いた事件であり、事件の全容解明については捜査の進展を待つところであるが、住民の方からの多くの情報提供により今回の逮捕に至っており、改めて住民の皆様方との協力や連携が安全・安心な街づくりにおいて不可欠であることを実感した。 〈管内の治安情勢について〉 ○ 当署最大の治安課題としては、ニセ電話詐欺等への対策である。 昨年中のニセ電話詐欺被害については 発生31件 被害額 約1億6千万円 で被害額は県下ワースト2位となっており、非常に多くの人が詐欺に遭っている。SNS型投資・ロマンス詐欺は 発生28件 被害額 約2億円 と大変深刻な被害となっている。 被害防止に向けて、我々も様々な対策を講じているところであるが、是非皆様方も被害の現状等を周囲の方に広くお伝えいただく等、被害防止に協力いただきたい。		

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要

- 今後も署員一人一人が警察の責務を果たすため、最大限の努力をしていく所存であるので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

【報告事項】

令和6年の治安概況と令和7年の活動重点について

- 1 刑法犯認知件数(生活安全課長)
- 2 ニセ電話詐欺等対策の強化(生活安全課長)
- 3 暴力団の取締り等組織犯罪対策の強化（刑事第二課長）
- 4 飲酒運転・交通事故抑止対策の強化（交通課長）
- 5 性暴力・児童虐待への的確な対処（生活安全課長）
- 6 サイバー空間の脅威への的確な対処（生活安全課長）
- 7 重要凶悪事件の徹底検挙（刑事第一課長）
- 8 災害・テロ等の脅威への的確な対処（警備課長）

【質疑・意見・要望等】

- 委員から「防犯カメラの設置について、警察の補助金はあるのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「警察で防犯カメラ設置の補助金は今のところない。住民の皆様から不安を感じている場所や、設置してもらいたい場所等の相談を受けた際に協議して、適切な場所を選定して市役所に相談し、補助金を利用して設置している。」旨の回答があった。
- 委員から「ふっけい安心メールとはどのような内容のメールが発信されるのか。登録した人のみに配信されるのか。エリアはどうなっているのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「登録された人のみに配信する。例えば、実家が早良区で住居が城南区の方が早良区と城南区を登録すれば、両方の区の情報が配信される。内容については、ニセ電話詐欺や不審者等の発生状況をタ

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要

イムリーに配信している。」旨の回答があった。

- 委員から「城南区といえば福岡大学、中村学園大学があるが、防犯等で大学生と連携している取り組みについて聞きたい。」旨の質疑があり、生活安全課長から「福岡大学の学生ボランティア団体と連携し、大学周辺や地下鉄構内等でキャンペーンチラシを配布する等、様々な広報啓発活動を行っている。」旨の回答があった。

- 委員から「まっ太フォンとはどういう機能があるのか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「ニセ電話詐欺被害防止機能として、留守番電話や自動録音、非通知着信拒否、迷惑電話の着信拒否、通話の前に注意喚起する機能がついており、市販されている。」旨の回答があった。

- 委員から「外国人対策の件で聞きたい。警察は日本語学校と連携しているか。」旨の質疑があり、警備課長から「全てを網羅している訳ではないが、管内の日本語学校とは連携しており、今後も引き続き外国人を雇用している企業や学校等と連携していきたいと思っている。」旨の回答があった。

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要

